

令和8年度 公益財団法人愛知公園協会事業計画について

1 運営方針等

(1) 運営方針

青少年の健全な育成、県民の健康の増進及び県民の豊かな人間性の醸成に寄与することを目的として、愛知県から指定管理者として受託した愛知県児童総合センター・海南こどもの国・愛知県緑化センター・愛知県昭和の森・愛知県弥富野鳥園の5施設を活用した事業を実施してまいります。

また、施設の設置目的に沿った管理運営を行うために「楽しく安全な公園づくり」を基本理念として、次の5つの重点事項及び運営方針に留意し、適正かつ円滑な運営に努めるとともに、役職員の意識向上に努めてまいります。

ア 重点事項

- (ア) 魅力ある事業の展開
- (イ) 利用者の安全確保
- (ウ) 利用者ニーズへの的確な対応
- (エ) サービスの向上
- (オ) 効果的な運営

イ 運営方針

- (ア) 連帯感・一体感の醸成
- (イ) サービス精神の向上
- (ウ) 士気の高揚
- (エ) 経済性の発揮
- (オ) 利用の向上

(2) 令和8年度理事会及び評議員会の開催（予定）

ア 理事会	第1回定例理事会	令和8年6月
	第2回定例理事会	令和9年3月
イ 評議員会	定時評議員会	令和8年6月
	評議員会	令和9年3月

(その他必要に応じて開催)

(3) 監 査

- ア 例月監査及び書面監査
会計関係諸帳票その他の書類について行う。
- イ 業務状況監査
業務の執行状況について行う。
- ウ 決算監査
前年度の決算について行う。

(4) 職員の現員数

令和8年4月1日現在(単位人)

所 属		現員数
総 務 課		7
事 務 所	児童総合センター (管理施設：愛知県児童総合センター)	16
	海南こどもの国 (管理施設：海南こどもの国)	9
	緑化センター (管理施設：愛知県緑化センター、愛知県昭和の森)	13
	弥富野鳥園 (管理施設：愛知県弥富野鳥園)	2
合 計		47

2 事業実施計画

愛知県から指定管理者として指定を受けた施設を適正に管理運営するとともに、青少年の健全な育成
県民の健康の増進及び県民の豊かな人間性の醸成に寄与することを目的として、各施設を活用して次の
事業を実施します。

(1) 愛知県児童総合センター事業計画

ア、事業の実施

愛知県児童総合センターにおいて、児童の健全育成のための遊びや学びの場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
体験・育成	特別企画	年 3回	—	入館者
	発見！あそびの基地	年 3回	—	入館者
	集団活動事業	年 4回	各10～15人	希望する児童等
	屋外環境づくり事業	不定期	—	希望する児童等
	他団体等との共同事業	連携団体と協議のうえ、決定	連携団体と協議のうえ、決定	希望する児童等
開発・調査	遊具・あそびのプログラム開発	年 1回	—	—
	アンケート等の実施	原則、秋期、特別企画開催時	—	入館者
	その他の事業	随時	—	—
養成・研修	愛知県児童館連絡協会の事務局・役員としての参画	総会1回・役員会7回 研修会9回	—	市町村児童館職員等
	市町村職員及び児童館職員に対する研修	年 6回	—	市町村児童館職員等
	子育て支援者等のボランティア研修	年 1回	10～15人	子育て支援者または子育て支援ボランティア希望者
	その他の事業	随時	—	—
普及・啓発	あそびの相談事業	随時	—	市町村児童館職員等
	移動児童館事業	年20回	—	地域の児童や親子
	県内市町村の全児童館の交流大会	年 1回	—	市町村児童館職員等
	子育てひろば（あのねっとのへや）の開設	原則常時	—	入館者
	小さい子どもたちと親等のための遊びのプログラムの開発と提供	年30回程度	各15組程度	希望する未就園児とその親

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
普及・啓発	親子で遊ぶクラブ活動	年 1クール (週 1回・5週連続)	15組程度	幼児とその親
	お父さん応援プログラム	原則第3日曜日	各15組程度	父親とその子ども
	子育て支援の基盤づくり	年 2回程度	—	入館者
	あそびのプログラム集の発信	年 1回	—	市町村児童館職員等
	その他事業	随時	—	—

イ、有料施設利用者数

施設の利用者数は、次のとおりとする。(入場料免除者を含む)

施設名	概要	利用者数
愛知県児童総合センター	1F チャレンジタワー、あそびのスタジオ1、あそびのスタジオ2、とことこのへや(幼児コーナー)、体験ゾーン「こどもの森」、発見ゾーン「あそびラボ」、ロボットシアター、水のひろば、アトリウム 2F チャレンジタワー、あそびステーション、キッチンスタジオ、あのねっこのへや(子育てひろば)、えほんのへや、発見ゾーン「音・光」、コラボラボ(コラボレーションコーナー) 展望フロア	278,000人

ウ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

イ、 有料施設利用者数

施設の利用者数は、次のとおりとする。(入場料免除者を含む)

施 設 名	概 要	利 用 者 数
愛 知 県 児 童 総 合 セ ン タ ー	1 F チャレンジタワー、あそびのスタジオ1、あそびのスタジオ2、とことこのへや（幼児コーナー）、体験ゾーン「こどもの森」、発見ゾーン「あそびラボ」、ロボットシアター、水のひろば、アトリウム 2 F チャレンジタワー、あそびステーション、キッチンスタジオ、あのねっこのへや（子育てひろば）、えほんのへや、発見ゾーン「音・光」、コラボラボ（コラボレーションコーナー） 展望フロア	278,000人

ウ、 施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

(2) 海南こどもの国事業計画

ア、事業の実施

海南こどもの国において、児童の健全育成のための遊びや学びの場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
設 事 業 常	竹馬などの遊具を使った遊びの指導	毎日 (休業日を除く。)	—	入園者（こども中心）
個 別 事 業	春季事業 (4月～6月) <ul style="list-style-type: none"> ・みんなであそぼう～らくがき遊び～、みんなであそぼう～謎解きゲーム～、みんなであそぼう～自然のオブジェをつくろう～、写生大会、みんなで作ろう～こいのぼり～、みどぼんまつり、ミニ汽車に乗ろう、ジャブジャブ池観察、つくってあそぼう～とぼしてあそぶ～、つくってあそぼう～風鈴をつくろう～、フリスビーゴルフをしよう、なにができるかな～竹細工をしよう～、みんなであそぼう～つみきであそぼう～ ・野菜収穫体験 	土日祝日 (41回)	—	入園者（こども中心）
	夏季事業 (7月～8月) <ul style="list-style-type: none"> ・七夕かざりをつくろう、ウォーターガンバトル、金魚をつかまえよう ・野菜収穫体験 	土日祝日等 (5回)	—	〃
	秋季事業 (9月～11月) <ul style="list-style-type: none"> ・どじょうをつかまえよう、ハンティングワードクロス、まんまるつるつる～どろだんごをつくろう～、みんなであそぼう～らくがき遊び～、ミニ汽車に乗ろう、絵本の読み聞かせとしゃぼん玉、秋まつり、どんぐり工作をしよう ・野菜収穫体験 	土日祝日 (30回)	—	〃
	冬季事業 (12月～3月) <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスキャンドルをつくろう、家族でつくろう～ミニ門松～、お正月あそび～ジャンボカルタとり～、新春かきぞめ大会、つくってあそぼう～たこをとばそう～、みんなであそぼう～ひなかざり～、みんなであそぼう～記録に挑戦～、みんなであそぼう～ボール～ ・野菜収穫体験 	土日祝日等 (37回)	—	〃

イ、 有料施設利用者数

各施設の利用者数は、次のとおりとする。

施 設 名		規 模	利 用 者 数
遊 戯 施 設	足踏み式ゴーカート	1人乗り36台、1周500m	104,076人
	水上自転車	3人乗り15台	102,924人
延 計 (無 料 利 用 者 を 除 く。)			207,000人

ウ、 施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営を行うとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

(3) 愛知県緑化センター事業計画

ア、事業の実施

愛知県緑化センターにおいて、緑化に関する知識普及の場と機会を提供するため次の事業を実施する。

(ア) 研修・教室

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
緑化研修	年26回	1,240人	一般・地方公共団体・学校・企業の緑化担当者
みどりの教室	年13回	330人	一般
野外教室	年11回	340人	一般
野鳥観察会	年4回	120人	一般
みどりの学習教室	年3回	150人	みどりの少年団

注：上記以外に随時研修（樹木の見分け方、樹木の管理、園内案内、自然観察、ナチュラルクラフト他）を実施する。

(イ) 緑化普及指導

緑化技術の普及啓発を図るため、緑化相談等を行う。

(ウ) 公共施設緑化指導

公園、緑地、学校及び工場等を対象として現地指導を行う。

(エ) レクリエーション大会

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
みどりフェスティバル	年2回	—	来園者
紅葉のライトアップ	年1回	—	来園者

(オ) 展示事業

緑化の普及啓発を図るため、緑化に関する展示等を行う。

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
展示事業	日本庭園の歴史	通年	来園者
	里山の役割	通年	
	生活に潤いをもたらす緑	通年	
	緑に関する普及啓発	随時	

(カ) その他事業

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
季節の花めぐり	年17回	340人	来園者
ハーブ夢倶楽部	年14回	—	ボランティア
山野草倶楽部	年11回	—	ボランティア

イ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

(4) 愛知県昭和の森事業計画

ア、事業の実施

愛知県昭和の森において、県民の健康増進のためのレクリエーション活動に関する場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
展示事業	昭和の森の野鳥写真等展示	通年	来園者
	昭和の森を歩く会記録写真展示	通年	
	昭和の森の生き物展示	通年	
	樹木展示	通年	
	育林作業にチャレンジ	通年	
	世界の森林分布図	通年	
普及啓発事業	通年	—	
昭和の森を歩く会	年22回	660人	

イ、有料施設利用数

施設の利用数は、次のとおりとする。

施設名	概要	利用数
バーベキュー場	20区画（自主事業による増設有り）	964回

ウ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

(5) 愛知県弥富野鳥園事業計画

ア、事業の実施

愛知県弥富野鳥園において、野鳥の保護に関する知識普及の場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
鳥類保護事業	傷病鳥の保護	年 50件	—	—
	傷病鳥への給餌	通 年	—	—
鳥類調査事業	生息調査	年 48回	—	—
	標識調査	年 40回	—	—
	水質調査	年 4回	—	—
野鳥保護の普及啓発事業	探鳥会	年 10回	各 20人	来園者
	ミニ探鳥会	年 10回	各 20人	来園者
	野鳥観察指導	年 78回	—	来園者
	野鳥写真展作品募集	年 1回	40作品	—
	ストーンペインティング教室	長寿命化改修工事により中止	—	—
	夏休み自由研究相談	長寿命化改修工事により中止	—	—
	巣箱・えさ台づくり教室	長寿命化改修工事により中止	—	—
	野鳥撮影会	年 2回	各 15人	来園者
	初心者のための野鳥講座	年 1回	15人	来園者

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
	春休み親子探鳥教室	年 1回	15組	来園者
	企画展	年 7回	—	来園者

イ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。